

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 26.10.17 第 187 回国会第 2 号

10 月 17 日（金）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 経済産業の基本施策に関する件

- ・小渕経済産業大臣、山際経済産業副大臣、高木経済産業副大臣、関経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

田 中 良 生君（自民）

- ・原発停止後の電気料金の上昇や原油価格の高止り等に起因するエネルギーコストの増加が中小企業に大きな影響を与えていることについて、どのように対処していくつもりか。
- ・中小企業に与える影響を十分に配慮した上で法人実効税率の引下げを検討すべきと考えるが、経済産業省の対処方針を伺いたい。

富 田 茂 之君（公明）

- ・再生可能エネルギーによる発電電力の系統接続申込みに対して電力会社からの回答保留が生じている事態について、経済産業省はどのような対応を行うのか。
- ・高レベル放射性廃棄物の最終処分解決に向けて国が前面に立って取り組むとした小渕経済産業大臣の発言の趣旨を伺いたい。

近 藤 洋 介君（民主）

- ・小渕経済産業大臣の後援会等が開催した観劇会に関する経理処理は、政治資金収支報告書の記載からすると政治資金規正法又は公職選挙法のいずれかに違反するのではないか。
- ・小渕経済産業大臣は、本件に関し、違法性の高い管理を行っていること及び「知らなかったでは済まされない」問題であるとの認識を持っているのか。

今 井 雅 人君（維新）

- ・小渕経済産業大臣が代表を務める政治資金管理団体から後援会に寄附がなされている以上、後援会による観劇代の差額補填は、実質的には公選法で禁止された有権者への大臣による寄附に当たるのではないかと。
- ・政治資金を巡る問題に係る道義的責任の在り方についてどのように認識しているのか、また、事実関係を公開し説明責任を果たす必要性について小渕経済産業大臣の見解を伺いたい。

木 下 智 彦君（維新）

- ・クールジャパン機構から資金援助を受けた会社が販売しているコンテンツも含め、経済産業省の所管事項については小渕経済産業大臣が自らの眼で実際に確認しつつ監督を行っていく必要があるのではないかと。
- ・福島第一原発事故に係る汚染水対策や電力システム改革の推進に向けて、小渕経済産業大臣自らの言葉で決意を伺いたい。

権 名 毅君（維新）

- ・再生可能エネルギーによる発電電力の系統接続申込みに対する電力会社の回答保留に関し、「事実上の拒否」とならないためにはいつまでに回答することが必要であると経済産業省は考えているのか。
- ・政府では太陽光発電等の数値目標を定める動きがあると聞くが、今後の策定に向けた見通しはどのようになっているのか。

杉田水脈君（次世代）

- ・地域活性化の取組において重要な役割を担う基礎自治体の中で産業振興分野の人材が不足している小規模な自治体に対して、どのような支援を行うのか。
- ・小渕経済産業大臣は、自らの政治資金に関する疑惑について、政治倫理審査会に出席し弁明を行う意思はあるのか。

柏倉祐司君（みんな）

- ・次の消費税増税に際しては、我が国の経済状況及び企業の景況動向等、どのような経済指標が改善することが判断材料となるのか、小渕経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・今後の成長が見込まれる医療、介護及び医療機器産業に対して人・モノ・カネをどのように集中投資し、どのような政策で成長を牽引していくのか。

塩川鉄也君（共産）

- ・再生可能エネルギーによる発電電力の系統接続申込みに対して電力会社からの回答保留が生じている問題に関し、経済産業省はこれまでどのような系統増強対策を行ってきたのか。
- ・総合資源エネルギー調査会系統WGでは、ベースロード電源について「過去 30 年の設備利用率平均に設備容量を乗じて」想定することが提案されたが、これは原発再稼働を前提としているのではないのか。